



「敬老の日」



日吉小学校 六年 馬木 葵

私には、じいちゃんとはあちゃんがいます。じいちゃんは、ときどきおかしやおこづかいをくれます。ばあちゃんも、買い物に行ったときには、私のほしい物を買ってくれます。

ばあちゃんは、いろいろな野菜を育てて食べさせてくれます。水やりや草ひきなど毎日欠かさず世話をするので、ばあちゃんの野菜はとてもおいしいです。今年の夏は、暑い日が続き、収穫量もいつもの年ほどはなかったけれど、味はいつもどおりおいしかったです。

そんな優しい祖父母が、私にきびしくすることが一つだけあります。それは、言葉づかいです。私が乱暴な言葉づかいをすると、きびしくしかられます。その時は、「うるさいな。」と思うこともあります。でも、落ち着いて考えると、友達や人とつきあつていく上で、礼儀や言葉は大切なんだということを私に教えてくれているんだと思います。時にはやさしく、時にはきびしく私をさとしてくれるじいちゃんとはあちゃんは、私にとって大切な存在です。

でも、そんな二人に、私は今まで何もしてきませんでした。歳をとるにつれ、じいちゃんは家にいることが多くなりました。ばあちゃんも「元気元気」と思っていました。暑い中での畑仕事は大変そうです。私ももう六年生なので、これからは私がじいちゃんやばあちゃんにいろいろしてあげる番だと思っています。肩たたきをしたり、ばあちゃんの育てた野菜で私が料理を作ったりして、私

なりに今までの「ありがとう」の気持ちを表したいです。また、朝や晩のあいさつをして、二人に私の元気を分けてあげたいと思います。

日吉には、他にもたくさんのおじいさんやおばあさんがおられます。学校では、毎年「多世代交流会」という行事があります。今までに、しめ縄、うどん、竹でつぼうなどの作り方を教わりました。お年寄りがお手本で作っておられる様子を見ると簡単そうですが、いざやってみると、とてもむずかしいです。私はいつも途中で助けてもらいました。おじいさんやおばあさんが、やさしく教えてくださったおかげで、しめ縄も竹でつぼうもなんとか仕上げることができました。私は、この交流を毎年楽しみにしています。今年はどうなことをするのかなど今から楽しみです。今年もどうぞよろしくお願いします。

みなさん、これからも体に気をつけて元気であってください。そして、私たちの知らない昔のことをいっぱい教えてください。来年もまた元気なおじいさん、おばあさん方に会えることを楽しみにしています。

